

地域ごみワークショップ結果

今回、審議会に先立ち地域（中学校区）別にごみワークショップを実施しました。
本ワークショップでは、地域におけるごみの問題及び市民の意見を把握すること、施策に対する市民の意向を確認することを主な目的としました。

(1) 自治会アンケート結果

ワークショップを開催するにあたり、地域が考えるごみの問題や自治会の活動概況を把握するため、自治会向けアンケートを実施しました。対象者は各自治会の代表として自治会長とし、全自治会数 137 のうち 88 自治会から回答がありました。以下に、概要を示します。

《自治会アンケート配布と回収》

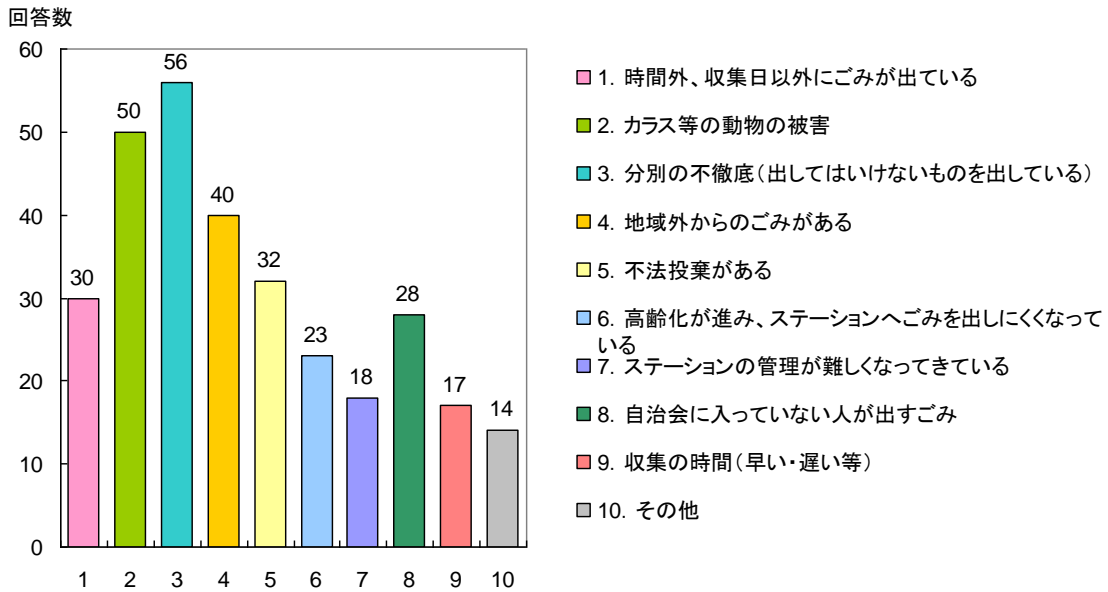
中学校区	回答件数	自治会数	回収状況
川西南	17	30	56.7%
川西	27	44	61.4%
明峰	7	8	87.5%
多田	12	20	60.0%
緑台	3	3	100.0%
清和台	6	10	60.0%
東谷	16	23	69.6%
全体	88	137	64.2%

《自治会アンケート（設問）》

	設問内容
問 1	[地域におけるごみの排出について] 現状で問題になっていることはありますか。
問 2	[あなたがお住まいの自治会での活動について] ① 自治会で行っている活動についてお答え下さい。 ② 分別やりサイクルについて、もっと地域が取り組んだ方がよいと思う活動があればお答え下さい。 ③ 自治会で抱える課題についてお答え下さい。 ④ 自治会でイベント等を行った際のごみについてお答え下さい。
問 3	[ワークショップの内容について] 知りたいこと、話し合いたいことはありますか。
問 4	[有料化について] ごみの有料化が検討される場合、地域としてどのような反応になると思いますか。

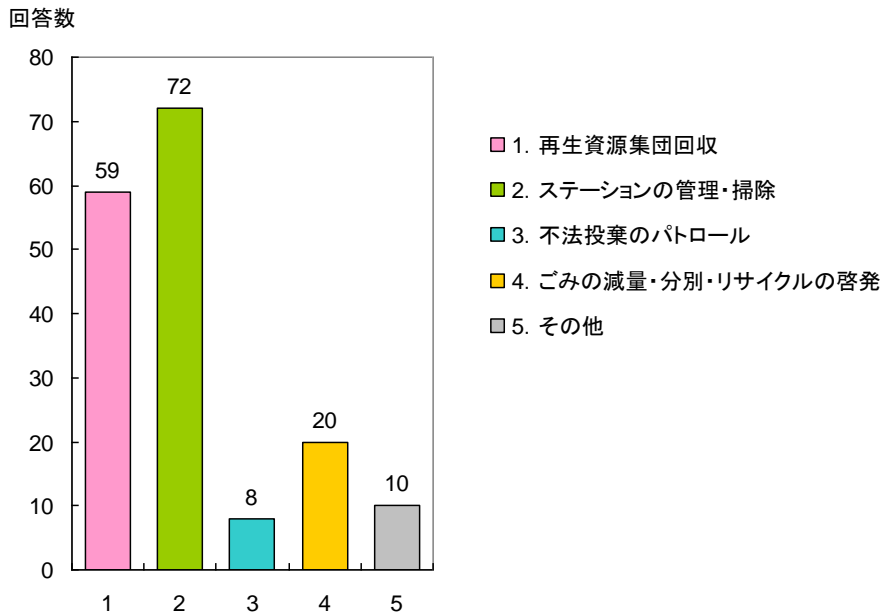
《自治会アンケート（回答結果）》

問 1 （地域におけるごみの排出について）現状で問題になっていることはありますか。（複数回答可）



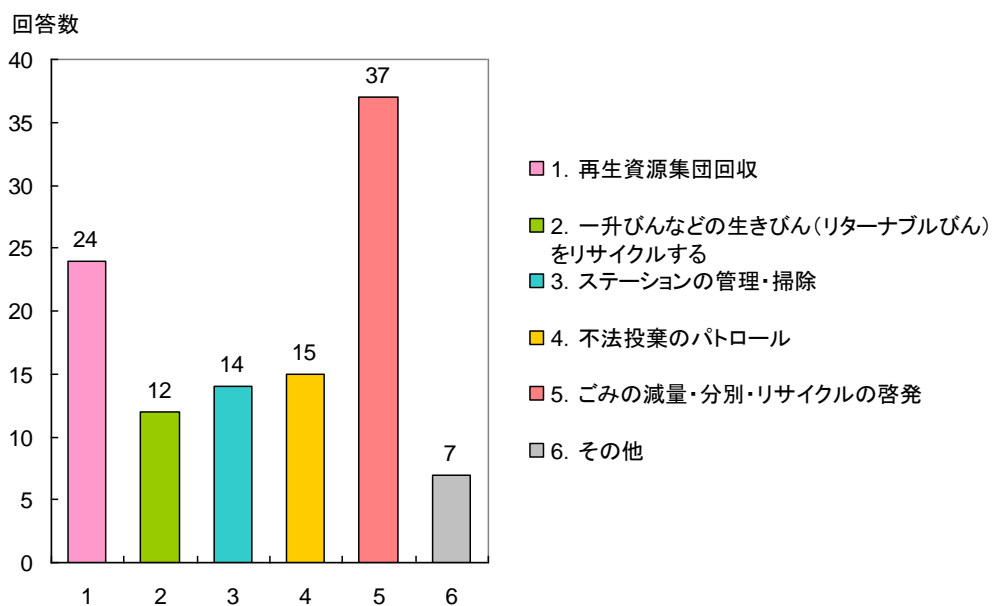
最も多い意見は、「分別の不徹底（出してはいけないものを出している）」であった。次いで「カラス等の動物の被害」、「地域外からのごみがある」の順であった。

問 2 （あなたがお住まいの自治会での活動について）①自治会で行っている活動についてお答え下さい。（複数回答可）



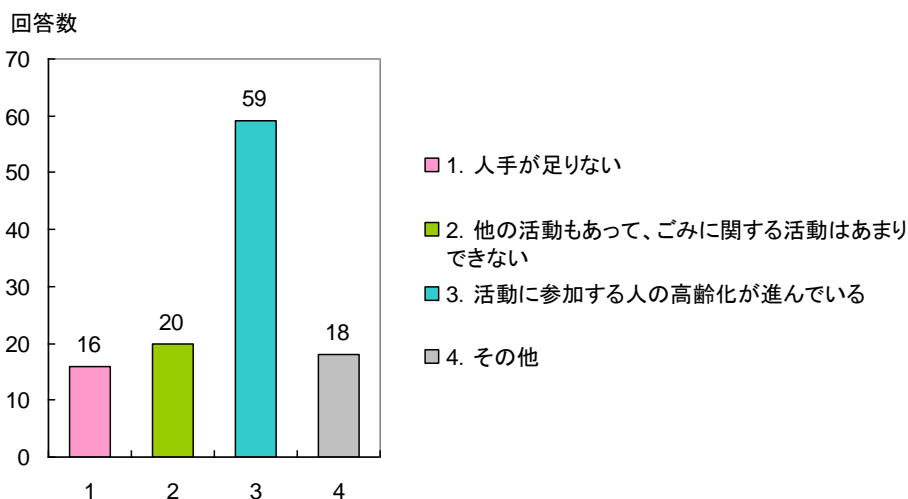
最も多い意見は、「ステーションの管理・掃除」で、次いで「再生資源集団回収」であった。他の選択肢よりも回答者がかなり多く、「不法投棄のパトロール」等を行っている自治会は少なかった。

問 2 ②分別やリサイクルについて、もっと地域が取り組んだ方がよいと思う活動があればお答え下さい。(複数回答可)



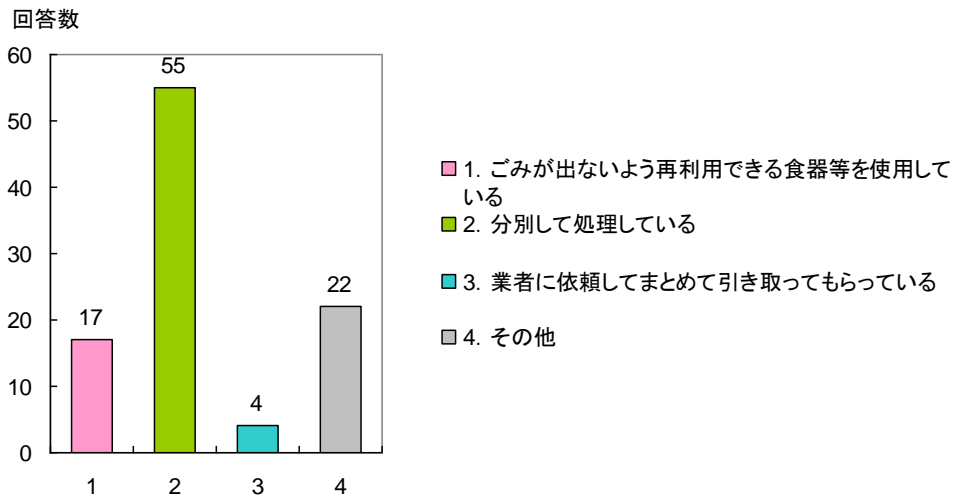
最も多い意見は、「ごみの減量・分別・リサイクルの啓発」で、特に回答数が多かった。次いで「再生資源集団回収」が多く、「不法投棄のパトロール」、「ステーションの管理・掃除」、「一升びんなどの生きびん(リターナブルびん)をリサイクルする」はほぼ同数であった。

問 2 ③自治会で抱える課題についてお答え下さい。(複数回答可)



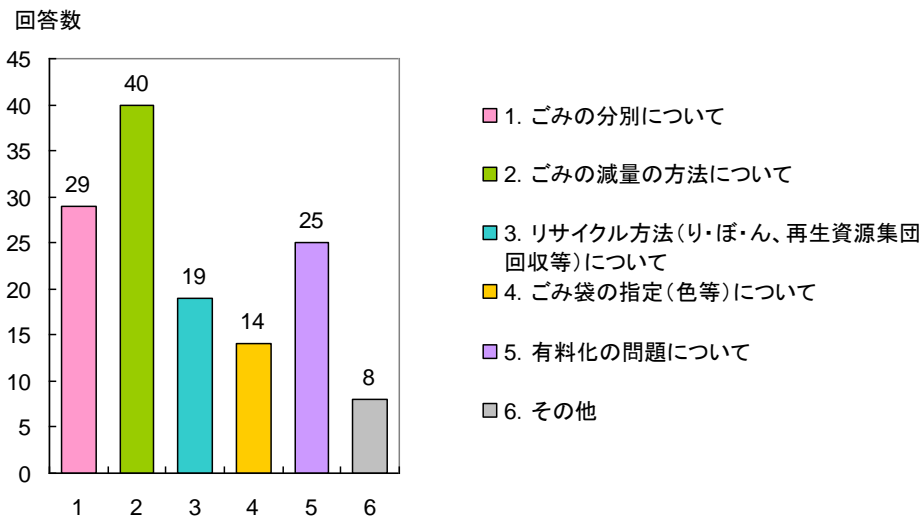
最も多い意見は、「活動に参加する人の高齢化が進んでいる」で、他に比べ特に多い結果となった。次いで「他の活動もあって、ごみに関する活動はあまりできない」、「人手が足りない」という回答が多かった。

問2 ④自治会でイベント等を行った際のごみについてお答え下さい。(複数回答可)



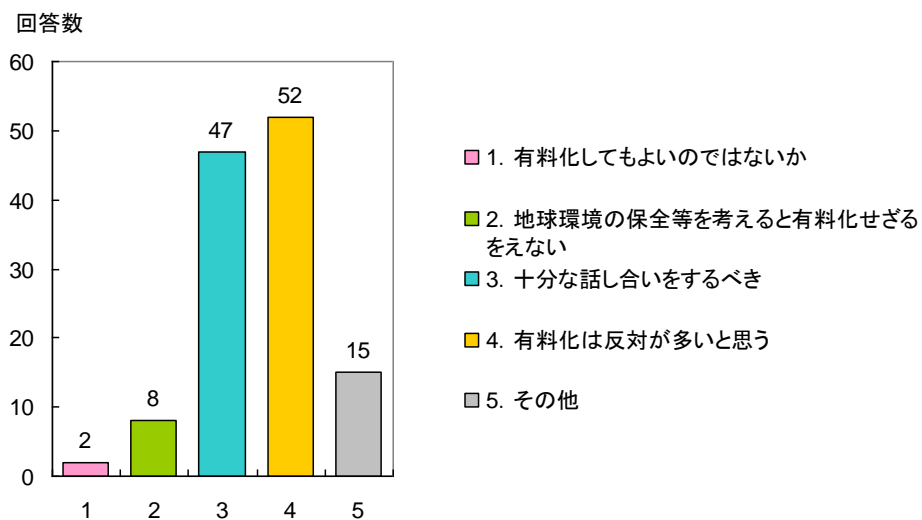
最も多い意見は、「分別して処理している」で、ほとんどの自治会では分別して処理されている。次いで「その他」、「ごみが出ないように再利用できる食器等を使用している」となっているが、「その他」には「イベント等をやっていない」という意見も多かった。

問3 (ワークショップの内容について) 知りたいこと、話し合いたいことはありますか。(複数回答可)



最も多い意見は、「ごみの減量の方法について」、次いで「ごみの分別について」で、減量や分別に関する意識が高かった。「有料化の問題について」の回答数も多く、地域住民の関心が高いことがわかった。

問 4 (有料化について) ごみの有料化が検討される場合、地域としてどのような反応になると思いますか。



最も多い意見は、「有料化は反対が多いと思う」、次いで「十分な話し合いをするべき」が同程度で回答のほとんどを占めていた。「地球環境の保全等を考えると有料化せざるをえない」、「有料化してもよいのではないか」という回答は少なく、有料化の検討においては、十分な協議・説明が必要であることが改めてわかる結果となった。

(2) ワークショップ開催結果

ワークショップは、各回2時間を目安とし、市内の中学校区（7区）で実施しました。各回の日時、場所、参加者数等の実施状況を以下に示します。

《ワークショップ実施状況》

地域 ([] 内は自治会数)	開催場所	開催日	時間	参加者数
明峰中学校区 [8]	明峰公民館	9月12日 (木)	18:00-20:20	34
川西南中学校区 [30]	川西南公民館	9月13日 (金)	13:00-15:00	33
多田中学校区 [20]	多田公民館	9月14日 (土)	10:00-12:00	13
緑台中学校区 [3]	緑台公民館	9月18日 (水)	10:00-12:10	33 (31) ※
清和台中学校区 [10]	清和台公民館	9月22日 (日)	14:10-16:10	13
東谷中学校区 [23]	東谷公民館	9月27日 (金)	13:00-15:00	9
川西中学校区 [44]	川西市役所 7階大会議室	9月29日 (日)	10:00-12:05	27
				参加者総数：162名 (男性：79名、女性：83名)

※ () 内は途中退出者を除いた人数

プログラムは、川西市からの情報提供（一般廃棄物処理基本計画の説明、クイズ形式での間違いやすい分別の解説等）と参加者によるグループワークを行い、市民からの意見を取りまとめました。プログラム例を以下に示します。

《プログラム（午前の例）》

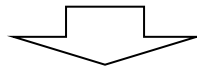
時間	プログラム内容
10:00	あいさつ
10:05~10:30	[情報共有] ・市の計画について（一般廃棄物処理基本計画の概要） ・自治会アンケートの概要 ・分別クイズ
10:30~11:35	[グループワーク] “身近なごみの問題とその解決策を考える” 前半『身近なごみ問題はどんなこと？』 不法投棄やステーションの問題、分別で困っていること等、意見出しをする。（類似意見をグルーピング） 後半『問題を解決するために必要な対策は？』 前半でまとめた問題を踏まえ、市民・行政・事業者ができること、実施してほしい対策についてまとめる。
11:35~11:55	グループ発表（各グループ5分）
11:55~12:00	閉会挨拶、終了

《グループワーク意見 まとめ》

【地区名：明峰中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の買いすぎ ・ 高齢者宅へのごみ収集問題がある。 ・ ごみ減量に向けた現状把握が必要（何g出しているか）。 ・ ごみ出しルールの不徹底。 ・ 不法投棄が多い。 ・ ごみの分別が多すぎて混乱が生じている。 ・ カラスのごみを散らかす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要品の処分に迷う。 ・ 啓発が不十分。 ・ 高齢者のごみ出しが困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の過剰包装。 ・ 大量生産のしすぎ。 ・ 賞味期限が厳しすぎる。
	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会が集めたアルミ缶やリサイクル品を、一般業者が持って行く。 ・ ごみステーションの設置場所がない。 		



○解決策

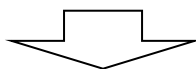
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ものを大切に長く使う。 ・ 自治会員へのPRを行う。 ・ ごみ問題への意識を高める。 ・ ごみの水切り。 ・ エコバック持参。 ・ 生ごみを減らす工夫を行う。 ・ 食生活での無駄を無くす。 ・ 「ごみの分け方、出し方」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと現状を知らせてほしい。 ・ 市で収集できないごみの表示板を作成してほしい。 ・ 家庭用の簡易焼却炉の使用の検討。 ・ ごみ分別の定義の周知徹底が必要。 ・ 生ごみの処理方法と堆肥の作り方を教えてほしい。 ・ 折りたたみ用のごみ箱を配布してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過剰包装に対する行政の指導。 ・ 賞味、消費期限に対する行政の指導。 ・ ビンの回収について、1本の持ち込みでも有料になるように、メーカー側に働きかける。
	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化を実施するまで市民の意見を聞き、やむを得ない状況であれば有料化する。 		



【地区名：川西南中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 他市からごみを捨てにくる人がいる。 分別の違う日に出されているごみがある。 ごみ当番内でのトラブルがあった。 カラスがあらず。 分別が分からない、間違っている。 ごみの減量方法を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 減量施策の啓発が不足。 ごみ処理の有料化を進める。 ペットボトル回収用の容器がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個包装が多すぎる。 容器包装の削減。 リサイクルしづらい（引き取ってもらえない?）。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> 持ち去り（大型ごみ、缶、新聞） 		



○解決策

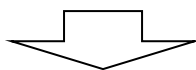
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人一人の意識。 もっと分別の勉強をする。 生ごみ機を活用して生ごみを減量する。 無駄買いをしない様に心掛ける。 分別をしっかり行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別されにくいものを回覧で知ってもらう。 不法投棄、分別、ごみステーションそれぞれに、注意文の看板を作ってほしい。 テレビで放送する。(CMなど) 市としてごみ回収で困っていることをアピールする。 ごみステーションの場所を提供してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 酒ビン類の購入先への戻し。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> ごみ袋の有料化。 非自治会員の多いごみステーションの差別化。 リターナルビンをすすめる。 		



【地区名：多田中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄で迷惑を受けている。 不法者に対する注意が難しい。 生ごみは網をかけているが、カラスが引っぱり出す場合がある。 他地区のごみが収集後に出されている。 分別が分からなくて困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別の仕方が分かりにくい。 住民登録の無い人の処理費も市民が負担している。 ごみステーションの管理、不法について問題点が多く、吹田市のような各戸別収集を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 包装品が多すぎる。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> ゴミステーションの広さに対して、捨てる人数が多い。 		



○解決策

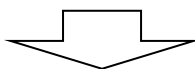
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 網や箱型のごみ箱を設置。 隣組で対応。 近所を見回る。 	<ul style="list-style-type: none"> 有料化をもっと話題にして問題提起を行う。 分別の仕方を市の広報及び自治会の回覧等でアピールしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 買う側が断る。 少人数向けの商品の販売（食品）。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> 市が個別回収を推進してほしい。 ごみ処理の有料化。 ごみの乾燥、堆肥化をする。 市として自治会に問題提起してほしい。 		



【地区名：緑台中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄がある。(ベッド、TV等)。 収集日に違ったごみを出す人がいる。 ごみ出しマナーが悪い。(分別ができていない) 分別方法がわからない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑台周辺の「ごみステーション」で市からの表示板が古くなって読めないものが出ている。 高齢化への対応が必要。 グループ収集での問題が多くなっている。 パソコンの廃棄方法が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの景品等、おまけが多すぎる。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> アルミ缶の業者横取り。 市以外の車が収集している。 		



○解決策

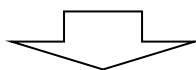
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみは集団回収に出す。 外食食べ残しはタッパー等を持って行って家に持ち帰る。 店頭回収を利用する。 食材を使い切る。消費期限内に食べ切る努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の講習会を数多く行う。 広報をもっと行う。 市が作っている収集の冊子を年に1回配布希望。 不法投棄は法律違反と銘記した立て札を立てる(川西警察の名も入れる)。 戸別回収の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店食べ残しの有料化。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> プラスチック分類を正しくする。 ごみ出しマナーに関する講習会を頻繁に開く。 資源になるごみを持ち出す人の取り締まり。 		



【地区名：清和台中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄が多い。 収集後に捨てる人が多い。 時間外に出す人がいる。 他のステーションの人が仕事に行く途中に捨てる。 住民への有効な周知方法が分からない。 不法投棄についてどこに報告するかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別が細かすぎて誤りが多い。 公園や空き地への不法投棄。 ごみ分別の種類が多い。 ごみステーションの設置場所に不満がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 過剰包装。 事業系廃棄物の、ごみステーションへの投棄。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> 各自の自覚が低い。 アルミ缶を集める人がいる。 		



○解決策

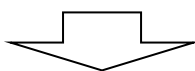
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 住民意識の向上。 ごみの分別、マナー向上を図る広告、看板、宣伝を行う。 水切りの励行。 食べ残しをしない。 ごみ袋の透明化。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの問題について広報活動を行う。 ごみ袋の有料化。 分別表を再度配布してほしい。 防犯カメラの設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみを捨てた本人に話をする。 少量商品の販売。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理有料化の推進。 ごみ袋の透明化の推進。 		



【地区名：東谷中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> ちゃんと分別できていない。 他地域からのごみがある。 ワークショップへ参加しないような方へどう働きかけるか。 ボタン電池をわざわざ電気店に持っていくのは面倒。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみグループ内でお当番に関する問題がある。 収集の時間をある程度定める。 分別方法の周知不足。 収集の時間が昼前の時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルのキャップを取るときにけがをしそうになる。
(全体) <ul style="list-style-type: none"> 市の回収車に来る前にカンなど盗んでいく業者や自転車で集めている人がいる。 			



○解決策

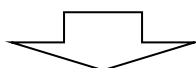
主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 分別できていないことをまずは認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> もっとわかりやすいパンフレットを作成する。 ごみ分別の出前講座をもっと実施してほしい。 市からもっと情報がほしい。(1人あたりのごみ処理経費とか)。 高齢化社会に応じて収集してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 異物混入対策もあり、ある程度の過剰包装はしかたがない？
(全体) <ul style="list-style-type: none"> 広報誌を大いに活用する。 物を大切にすることがあれば有料化せずとも減るのではないか。 			



【地区名：川西中学校区】

○ごみの問題・課題

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ、プラスチック、ペットボトルごみが多い。 物を大切にしていない。 カラスの被害がある。 分別があまりできてない。 よそからの不法投棄がある。 家庭の分別間違いがある。 ごみステーションの場所が、一ヶ所に集中しすぎのような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢化に対応した収集が必要。 ごみの回収時間が遅い。 分別方法が違う他市（宝塚市）と隣接しているので、ゴミの持込みが多い（特に大型ゴミの日）。 	<ul style="list-style-type: none"> 過剰包装。 ビンを引き取ってくれる商店がない。 すべての店でレジ袋断りのサービスしているわけではない。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> 紙や布等の持ち去りがある。 		



○解決策

主体	市民	行政	事業者
内容	<ul style="list-style-type: none"> 減量を考えて買い物を心がける。 リユース・詰替品の利用。 生ごみの水切り促進。 大型ごみの有料化は一部可能と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回のワークショップのようなイベントや啓発の促進。 市民の改善努力が報われるような取組みの検討。 有料化を考え、ごみの減量の意識を変える。 有料化はしてほしくないが、仕方がないと思う。 透明袋の使用を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 過剰包装をやめる。 トレイ回収の促進。
	(全体) <ul style="list-style-type: none"> 市民の努力と行政のサポートが必要。 国崎クリーンセンター見学会の実施。 集団回収を進める。 1人1人、皆が語り合う事が大切。 		



《ワークショップ終了後のアンケートの意見》

(1) 本日のワークショップはいかがでしたか？感想をご記入ください。

＜一般廃棄物処理基本計画の説明や、ごみ分別クイズ＞

地域	主な意見
明 峰	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別をわかっている様で、わかっていない事を認識した。 ・分別について、勉強になった。 ・計画については、もう少し詳しく説明がほしかった。
川西南	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別のわかりにくいものは、分別表があるが市からのPRが大切。 ・燃やすゴミ・有害ゴミの分別、大型ゴミ・燃やさないゴミの分別は、いつも考えながら出していた。今日で少し分かった様に思う。 ・他業者が必要な物を持ち帰り、後始末しない
多 田	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ知らないことが多く勉強になった。 ・もう少し生ゴミを減らす工夫をしようと思った。 ・良かった。自治会の出前講座がもっと欲しい。
緑 台	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別で分別間違いをしていた。勘違いをしていた事もあり、教えていただいて良かった。 ・特にプラスチックの分別について、知らない事が多かった。(もやすゴミに入れなければならないものが多い) もっと周知する必要があると思った。 ・マナーを守っていない住民が多いことに驚いた。
清和台	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回毎回ゴミの日に対して不満がありましたが、担当の方・住民の方の話し合いで解決策を少し見つけられたようで納得しました。 ・ゴミ分別クイズでゴミの分別がわかった。もっと一般の人々にも知らせるようにしてほしい。 ・今後とも継続して行う事を考慮して下さい。
東 谷	<ul style="list-style-type: none"> ・計画等について、良く分かった。 ・ちゃんと分別したつもりで、分かっていなかったということがごみ分別クイズで発見しました。
川 西	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のはっきりわからない事が勉強になりました。ありがとうございます。 ・こう言う機会は必要と思う。事ある毎に、啓発する機会は有意義だと思う。 ・本業の主婦が結構むずかしく感じられている。もう少し慣れが必要なのではと思いました。

＜グループワーク＞

地域	主な意見
明 峰	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな意見が出て、参考になることが多かった。 ・時間が足りない。 ・ゴミについて話し合いをしたが、どう反映されるか疑問です。
川西南	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で出るゴミなので個人個人が考える・実行するのが大切だと思った。 ・ゴミの悩みは、みんな同じなんだなと思った。 ・色々話が出来た分、後に活かして行くようにしたい。
多 田	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によるゴミ出しが十分に出来ない人が増加している。 ・不法投棄も多いね。有料化検討しても。 ・色々な人の立場で話が聞けた。近所では出ていなくても、自治会全域となると様々な問題があることを知った。
緑 台	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢などがちがうと問題点が異なると感じた。 ・分別、ゴミステーションの出し方等高齢化のため、簡単なことが出来なくなっている。 ・住民1人1人のモラルによるところが大きいので、難しい問題だと思いました。
清和台	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人の意見を聞いて大変参考になった。これを機会に日頃からゴミ問題に関心を持って生活したい。 ・ゴミの日間違えた物が捨てられている時は、写真を撮り各班の当番ノートに貼り付けて回す意見は、早速取り入れたいと思いました。 ・住民のゴミ出しのマナーの悪さや行政が行っている事が少しわかった。
東 谷	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会員の意見が効果あると考えます。 ・分別がむずかしい(マヨネーズ…)→新しい転入者への教育、出前講座等を活用する
川 西	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減量する事は問題が多過ぎてむずかしい。市の人とコミュニケーションをする回数を増やし輪を広げながら意識改革を持つ様、コツコツと努力してやっていく様にする。 ・有料化で減量が少しは出来るのでは。 ・話し合うと色々な問題が出てきた。考え方の違いや、同意する場合もあり有意義な話し合いだったと思う。

(2) 市が進めるごみ関連の取り組みについて、ご意見があればご記入ください。

地 域	主な意見
明 峰	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれは有料化になるかと思うが、他市の現状なども知らせてほしい。(有料化になると不法投棄が増えるかなど) ・ゴミ分別を少なくしてほしい。 ・希望地区には戸別収集を実施してほしい。
川西南	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化は止めた方がよい。 ・ゴミの分別について、意識の低い方も多いと思うので分別方法のPRをもう少しした方がよいのでは。 ・ゴミの有料化に取り組む。
多 田	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態も多様になって、ゴミ出しのルールも守れない人もいる。 ・ごみの分別→ごみの減量化が一番だと思いますので、ごみの有料化を検討されたらと思う。 ・「りぼん」の存在を知らなかった。もっと知らしめる工夫を(自治会を利用とか)
緑 台	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の不法持ち去りを取り締まらないと、別の犯罪を招くのではないかな? ・コンポストの普及。 ・有料化を考える時期に来ているのではないかな。特に大型(ソファ・タンス等)を先に。その方が捨て安いケースもある。(大型仏壇等) ・大型ゴミの有料は、反対です。 ・自分にとってはゴミでも、必要な人もいると思うので“りぼん”など、フリーマーケットをもっと利用したいし広めてほしい。
清和台	<ul style="list-style-type: none"> ・一部有料化を考えてみるのも方法である。 ・ゴミの有料化に取り組むのがベターだと思う(公平性の原則に合致するので) ・3つの問題点(①不法投棄、②ゴミステーションの設置基準、③有料化)について市としての解決法を検討して欲しい。
東 谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量方法についてアイデアを広報誌で募集してみてもどうですか。すばらしいアイデアを出された方にゴミ袋をプレゼントされるとか… ・参加人数が少ない…自治会単位で人員を決めて参加させるべきでは(10名/1自治会等)。
川 西	<ul style="list-style-type: none"> ・出来れば有料化にしないで欲しい。 ・ある程度、阪神間で足並みを揃えていってもらいたい。 ・ゴミ教育を若い人ということに力を入れて欲しい。